治療計画書

療法名　キイトルーダ(3週毎)+TC+アバスチン　療法　1サイクル 3 週

疾患名　進行又は再発の子宮頚癌

注射/内服/放射線	Rp	商品名 / 照射部位	用量(/回) / 用量(/日) / 照射量	投与ルート / 用法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
注射	1	生理食塩液	50 ml	点滴	15分	●																											
注射	2	キイトルーダ	200 mg/body	点滴	30分	●																											
		生理食塩液	100 ml																														
注射	3	生理食塩液	50 ml	点滴	15分	●																											
注射	4	グラニセトロン	3 mg	点滴	30分	●																											
		デキサート	19.8 mg																														
		ファモチジン	20 mg																														
注射	5	生理食塩液	100 ml	点滴	30分	●																											
注射	6	パクリタキセル	175 mg/㎡	点滴	3時間	●																											
		生理食塩液	500 ml																														
注射	7	生理食塩液	50 ml	点滴	10分	●																											
注射	8	カルボプラチン	※AUC5	点滴	1時間以上	●																											
		生理食塩液	250 ml																														
			※最大800mg																														
注射	9	生理食塩液	50 ml	点滴	10分	●																											
注射	10	アバスチン	15 mg/kg	点滴	※初回90分	●																											
		生理食塩液	100 ml		2回目60分可																												
					3回目以降																												
					30分可																												
注射	11	生理食塩液	50 ml	点滴	10分	●																											
内服	1	レスタミン	50 mg	パクリタキセルの30分前まで		●																											
内服	2	アプレピタント	125 mg	抗癌剤の1時間-1時間半前		●																											
内服	3	アプレピタント	80 mg	1日1回朝食後			●	●																									
内服	4	デカドロン	4 mg	1日1回朝食後			(●)	(●)	(●)																								
放射線			Gy																														

特記事項

キイトルーダは最大35サイクル、TCは最大6サイクル
※アバスチンは、初回投与の忍容性が良好であれば2回目の投与は60分間で行っても良い。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。

減量規定

薬品名					
標準投与量					
1段階減量					
2段階減量					
3段階減量					